

都筑中央公園はグリーンマトリックスシステムの中核となる区内最大の総合公園



都筑中央公園自然体験施設



特定非営利活動法人 都筑里山倶楽部

里山便り

3月号



令和7年3月31日 第271号

発行：特定非営利活動法人 都筑里山倶楽部 理事長 岩嶋 伸幸
〒224-0032 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 57-8 Tel & Fax 045-941-0987

■ 里山保全体験（ジャガイモの植付け・年間コース合同） 3 / 1

6家族の参加と9名のサポーターでジャガイモの植付けをしました。

畑には前もって黒土客土とたっぷりの落葉だめの堆肥と牛フンを入れ、耕運機で耕し畝もこしらえてあります。当日の作業は、総数111個のキタアカリの種芋を包丁で半分に切り、腐敗防止のために切り口に灰をつける準備から。



その後、畑の畝に移動して植付けのための溝を鍬で掘っていきます。真っすぐに掘れたら30センチの竹定規で等間隔に種芋を並べて、あいだに肥料を加えて、最後に土をかぶせて完了。

3月初めにしては強い陽ざしのもと、ほどよい汗と笑顔で作業を終りました。13キロほどを植付けたので、目標は10倍の130キロの収穫です。 M.S.



■ カブトムシの越冬幼虫観察会 3 / 2 (日)

当日の天気は晴れ時々曇り、参加者30名、ボランティア5名で観察会を開催しました。カブトムシ幼虫の採集場所の広さと参加者数を考え、2グループ（前半G、後半G）に分けて行いました。

まず会議室で、今日の観察会の予定、自然観察するときの注意を説明し、配布した資料を使って、カブトムシの生態やオスとメスの見分け方を説明しました。その後、前半Gは、採集場所に向かい、後半Gは引き続き資料を使って、カブトムシの国内分布や昆虫の変態について説明（前半Gは、レストハウス到着後に説明）をした後、採集場所に向かいました。



カブトムシの幼虫は、フカフカの落ち葉で覆われたさらにその下の土の中にいます。子供たちは、落ち葉をかき分け、小型のスコップでそろりと土を掘り、探しました。最初はなかなか幼虫を見つけ出せなかった子供たちも、次第に要領を得たのか次々と見つけ出していました。そして、採集した幼虫のお尻の方にあるVの字を頼りに、オス・メスを見分けた後、採集したカブトムシの幼虫を大切にレストハウスまで持ち帰りました。

その後、会議室で質疑応答を行い、最後にアンケートを記入していただき、観察会を終りました。 T.N



■ 里山保全体験（シイタケの植菌） 3/2(日)

暖かく、穏やかな天気の中 7 家族 16 名の方々が、参加されました。

参加者は、スタッフより原木にシイタケが生えてくるまでの説明を聞き、シイタケが生えて来るまでに 2 年もかかる事にびっくり！

原木にドリルで穴を開け、シイタケの種となる駒をトンカチでトントン埋め込んでいきます。レストハウス 1 階にトンカチの合唱が響き渡っていました。

皆、2 年後の収穫を楽しみに種駒を植え付けた重たい原木を大事そうに持って帰っていききました。 Y.F.



■ ジュニアくらぶ 観察会 3/16(日)

水を使う紙漉きの時は暖かい方が良いのですが、残念ながらこの日は気温が急降下して寒い日となりました。そんな日でしたが元気のいいジュニアくらぶメンバーが集まりました。

紙漉きの説明を一通り行い、早々に作業に取り掛かりました。まず、楮の外皮を剥がします。ナイフを使ってゴボウの皮を剥ぐように固く色の濃い皮を剥いでいきます。普段、ナイフを使わない子供たちは少し苦労していましたが、何とか外皮を剥がすことができました。



次の作業はハンマーなどで内皮を叩いて、繊維をほぐしていきます。ここでの作業が不十分だと漉いた紙の仕上がりに影響するので大事な作業です。お父さんやお母さんの協力と共にした準備が整いました。

最後にほぐした内皮をフードプロセッサで水と一緒に攪拌してハガキ大の枠の簾に流して、漉いていきます。水桶の中での作業なので寒い日にはちょっと辛い作業です。それでも子供達は 2 枚、3 枚と紙を漉いていました。

初めての体験の子供達も多かったようで満足して漉いた紙を持って帰りました。大切な人へのメッセージを書いて送ってもらえると良いですね。 T.H.



炭焼き 3月の活動

【ドラム缶 MK-1 窯炭焼き】

MK-1 窯の不具合の原因を探る実験

昨年 6 月の炭焼きから続いている MK-1 窯の不具合、すなわち「通常は 300～400℃まで上昇する煙道部温度が 100℃までしか上がらず、良炭率が悪い」ことへの対応として外部からの冷気流入防止対策として前回煙突内に挿入設置した二重煙突を外した状態で、再度炭焼きを試みた。

結果 内部煙突を装着した前月と比べて大きな変化は見られず、煙道部で 350℃、窯下部で 815℃まで上昇し、出炭率(22.7%)、良炭率 (11.3%) も従来と同様の域まで戻すことができた。所要時間は、自発炭化時間が半分以下に短縮されたため (3.3 時間)、精錬時間を延長した (3.7 時間) にもかかわらず、火入れから窯締めまで 10.5 時間 (精錬開始まで 7 時間弱) となり、通常と同等もしくは短時間で終わることができた。

結論 内部煙突装着の影響はなかったため、窯不調の原因は外部からの冷気流入ではなく、主に煙道口付近のタール状の固形物により炭焼中の窯内部の暖気の動きが抑制されたためと結論した。

今後、煙道口から煙突内の清掃など、窯のメンテナンスを十分に行うとともに、火入れ→自発炭化→精錬の一連の炭焼きの過程において、焚口の通風口と煙道部に装着してあるダンパーを状況に応じて適切に開閉することで窯内部の暖気の流れを制御し、安定した良炭作りを目指す。

- 【無煙炭化器による軟炭作り】
- 【イベント時の販売用品 (竹細工・竹炭製品) の製作】
- 【シイタケのほだ木置き場の修復】

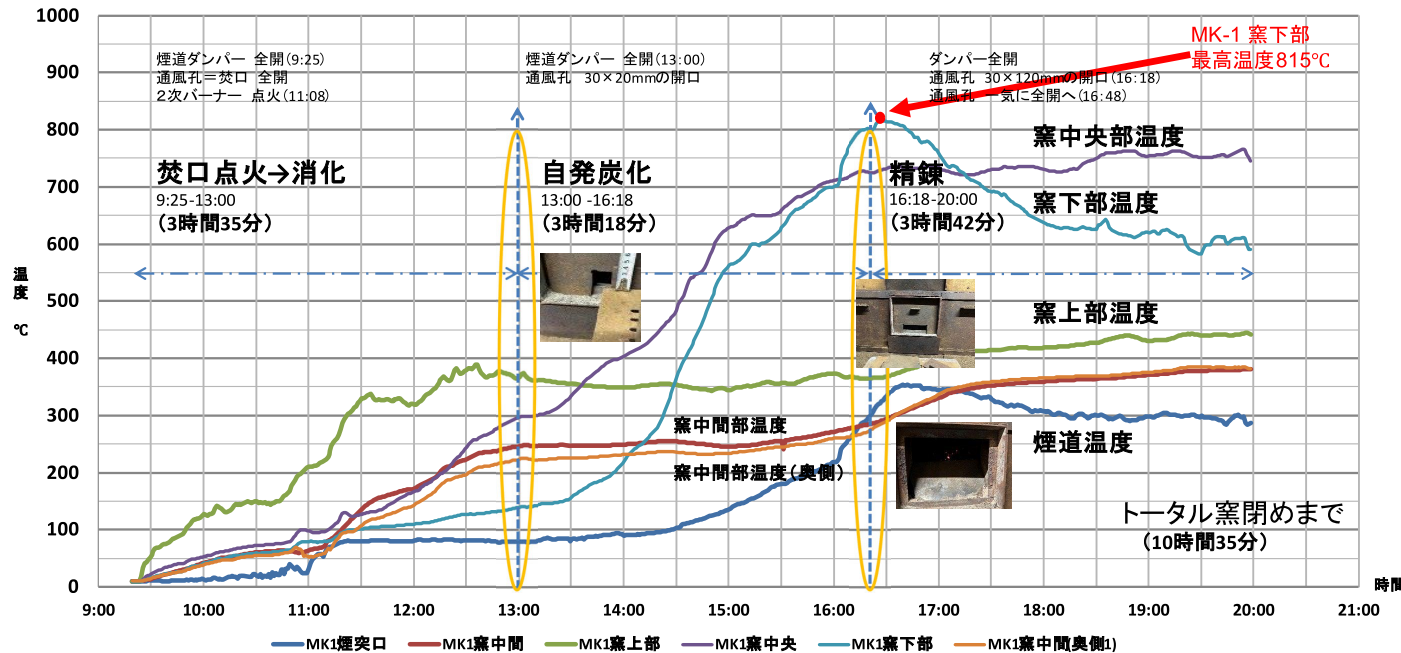


2025年炭焼き月度	1月度	2月度	3月度
出炭率	30.0%	24.8%	22.7%
良炭率	11.6%	12.0%	11.3%
竹酢液採取量	12.9 L	13.3 L	9.5 L
火入時間	5.5 hr	3.6 hr	3.5 hr
自発炭化時間	8.0 hr	6.0 hr	3.3 hr
精錬時間	0.8 hr	1.0 hr	3.7 hr
時間合計	14.3 hr	10.6 hr	10.5 hr
煙道部温度	145℃	340℃	350℃
最高温度	709℃(窯中央部)	836℃(窯下部)	815℃(窯下部)
変更点	煙道口 内部煙突	清掃せず ×	付着物除去 ○
その他	炭の質: ×～△	炭の質: ◎	炭の質: ◎

2025年3月15日(土) 宮谷戸 MK-1改修窯 竹炭焼き結果

第255回(窯改修後13回目) 炭焼き、気温 10℃、天気 曇り

炭材: 長さ68 cm 長寸 (伐採日 2024年1月26日 3年以上の成長竹 乾燥日数 丸竹379日、割竹35日、42%重量減)
入炭材量: 58.72 Kg 採取竹酢液: 9.53 L 出炭量: 13.3 Kg (22.7 %) 良品: 6.6 Kg (11.3 %)



4月5月 行事予定

月	日	曜日	行 事	時間	集合場所	参加費
4	5	土	里山保全体験(竹細工)	9:30 ~ 12:00	ばじょうじ谷戸休憩舎	300/100
	5	土	田畑作業体験(サトイモの植付け)	13:00 ~ 15:00		300/100
	6	日	ジュニアくらぶ オリエンテーション	13:00 ~ 15:00	レストハウス2F	-
	13	日	春の植物・昆虫観察会	9:00 ~ 12:00	レストハウス2F	300/100
	13	日	里山保全体験(タケノコ掘り)1部	10:00 ~ 12:00	ばじょうじ谷戸休憩舎	800/600
	13	日	里山保全体験(タケノコ掘り)2部	13:30 ~ 15:30		800/600
	27	日	晩春の植物観察会	9:00 ~ 12:00	レストハウス2F	300/100
	27	日	ネイチャークラフト作り	10:00 ~ 15:00	円形広場	500
	5	土	炭焼き(窯詰め、炭材作り)	9:00 ~ 12:00	宮谷戸炭焼施設	300/100
	12	土	炭焼き(火入れ、炭焼き)	9:00 ~ 17:00		
	12	土	炭焼き(火入れ、炭焼き)特別プ(筍の成長記録)	9:30 ~ 11:30		
	19	土	炭焼き(窯だし、炭材作り)	9:00 ~ 12:00		
5	3	土		10:00 ~ 17:00	パシフィコ横浜ABホール	
	4	日	横浜フラワー&ガーデンフェスティバル2025	10:00 ~ 17:00		
	5	月		10:00 ~ 17:00		
	4	日	ゴールデンウィークの昆虫観察会	9:00 ~ 12:00	レストハウス	300/100
	10	土	じゃがいも年間コース(追肥と土寄せ)	13:00 ~ 15:00	ばじょうじ谷戸休憩舎	
	11	日	「ローザ・つづきく バラまつり」 模擬店(食べ物・飲み物)体験(竹細工・綿菓子) ネイチャークラフト作り	10:00 ~ 14:00	円形広場	入場無料
	17	土	ジュニアくらぶ 初夏の観察会	10:00 ~ 12:00	レストハウス	-
	18	日	初夏の野鳥観察会	8:00 ~ 11:00	レストハウス	300/100
	24	土	歴史未来フェス2025	9:00 ~ 17:00	歴史博物館	
	25	日		9:00 ~ 17:00		
	25	日	大池の生き物観察会	9:00 ~ 12:00	レストハウス	300/100
	25	日	ネイチャークラフト作り	10:00 ~ 15:00	円形広場	500
	31	土	田畑作業体験(田植え)	12:00 ~ 15:00	ばじょうじ谷戸休憩舎	300/100
	10	土	炭焼き(窯詰め、炭材作り)	9:00 ~ 12:00	宮谷戸炭焼施設	300/100
	17	土	炭焼き(火入れ、炭焼き)	9:00 ~ 17:00		
	24	土	炭焼き(窯だし、炭材作り)	9:00 ~ 12:00		

<応募方法> 行事開催10日前までに一行事ごとにHPまたは往復はがきで参加者全員の氏名・年齢・住所・電話番号を記入してお申し込み下さい。申し込み多数の場合は抽選になります。抽選の結果は行事の1週間前までにご連絡致します。HP <https://tzksatokura.org/> お問合せ tsuzuki-park@tmtv.ne.jp



里山の恵み

- 竹炭 (港北ニュータン袋入り) 300円
- バラ炭 袋入り 750g/300円
5Kg/1200円
- 竹酢液 濾過品 2L/500円
蒸溜品 500ml/500円
- 竹細工各種 200円～
- 青竹材 200円/1m

編集後記

桜の季節がやってきました。この季節、都筑区では満開の時には車窓からでも桜がところかしこと咲き乱れ本当に綺麗です。
だんだんと暖くなり、そして新緑の季節が待っていますね。今年のバラまつりは5月11日(日)に開催される予定です。良い日和になることを願っています。ぜひご来園下さい。 事務局 M.Y.

4月 保全田畑部会 各エリア維持管理予定表

日付	曜日	9時～12時	13時～17時
1	火	(A4) 階段脇園路の草刈り、手摺脇園路へ竹チップ	
3	木	(H) バラ花壇、芽掻き、弱枝取り、除草、施肥	
8	火	(I-④) ゴーヤ棚から薪移動、薪わり	
10	木	(I-①) 米作り作業一畝まき	
15	火	(H) バラ花壇、芽掻き、弱枝取り、除草、消毒 (H) 接ぎ木バラの仮地植替え	
17	木	(B1) 竹林の整備、竹細工の日	
22	火	(B1) 竹林の整備、筍選別除去 (G) ジャガイモ土寄せ、芽掻き	
24	木	(園内) パトロール、(I-①) 部会会議 (大池) 鯉のぼり揚げ	